

## 研究テーマ

# じまんの原石「中山道伏見宿」を見直そう！

～伏見地区ふるさとづくり活動センター『駱駝(らくだ)』を拠点にして～

東濃実業高等学校 ビジネス管理科・ビジネス情報科

## 東濃実業高校ってどんな学校ですか？

本校は、今年創立90周年を迎えた伝統校です。「勤労」・「責任」・「進取」・「創意」を校訓とし、商業科と生活産業科の2つの学科を有する専門高校です。資格取得や部活動に積極的に取り組み、社会人として大切なあいさつや身だしなみを身に付け、環境美化にも進んで取り組んでいます。



## どんな学科・類型がありますか？

商業科については2学科あり、2年生から両科とも3類型に分かれ学習します。

学科	ビジネス管理科			ビジネス情報科		
1年生 共通	「ビジネス基礎」「簿記」 「情報処理」「商業技術」を学習			「ビジネス基礎」「簿記」 「情報処理」「プログラミング」を学習		
類型	<起業創造>	<簿記会計>	<事務管理>	<プログラミング>	<システム開発>	<ソフトウェア活用>
学習 内容	マーケティング 商品開発	会計 原価計算	文書デザイン PC活用	VB・COBOL プログラミング実習	システム開発 ネットワーク実習	表計算 データベース

## この研究テーマを選んだ理由は・・・



伏見地区ふるさとづくり活動センター『駱駝』

学校が位置する御嵩町伏見地区は、江戸時代には中山道の宿場町として栄えた地域ですが、新たにできた幹線道路沿いへの大型店進出や後継者不足による商店の廃業などで衰退の一途をたどっています。また、町内を走る名鉄広見線の利用者減少から存廃問題が浮上しています。そうした状況の中で、既存の商店街については、高齢化社会に対応した身近な買い物ができる環境づくりや、観光客の誘致と連携した地域活性化の方策などを検討していく必要があると考えた私たちは、「伏見地区ふるさとづくり活動センター『駱駝(らくだ)』と連携し、このテーマに取り組むことにしました。

## 昨年度の実践活動とその成果と課題は・・・

### <実践活動>

- 名鉄名古屋駅での伏見宿PR活動と知名度アンケート  
・愛知県在住者の約9割が伏見宿や御嶽宿を知らないということが分かりました。
- 伏見宿PR商品の開発  
・地域PR用カレーメニューの提案をしました。  
・『駱駝』の既存メニューである「おからくだ」の姉妹商品を提案しました。

### <成果と課題>

- ◇地域と密着した活動を行い、地域の現状について知ることができました。
- ◆伏見宿の知名度アップのため、さらなるPR活動をしていきたいです。



伏見宿PR活動(名鉄名古屋駅構内)

## 今年度(研究2年目)の実践活動は・・・

- カレーメニュー商品化に伴う販売促進活動
  - ・昨年提案した地域 PR 用カレーメニューの商品化が実現しました。
  - ・カレーの PR のために、販売促進物(のぼり)を作成し、御嵩駅周辺で販売促進活動を行いました。
- バスツアーの企画と PR 活動
  - ・伏見宿を知ってもらうために伏見地区の史跡等を巡るバスツアーを企画しました。
- ケーブルテレビ可児との連携
  - ・御嵩町内にある伏見宿と御嶽宿を知ってもらうためにケーブルテレビ可児に協力してもらい情報番組の制作を行いました。
- 『駱駝』との協力
  - ・伏見地区の史跡を見てまわる「エコロードハイキング」にスタッフとして参加しました。
  - ・地元のショッピングセンターで地域 PR 商品の販売実習を行いました。



ご当地限定「おからくだコロッケカレー」

のぼり



「伏見宿探求バスツアー」PR (名鉄名古屋駅構内)



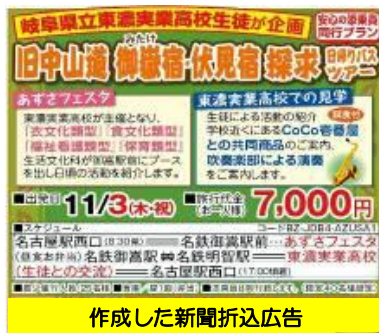
「エコロードハイキング」



『駱駝』の皆さんと販売実習

## 実践活動の成果と課題は・・・

- カレーメニューの商品化について
  - ◇ご当地限定・期間限定ということでしたが多くの方に好評でした。
  - ◆伏見地区外の人々にも知ってもらえるような宣伝活動が必要だと感じました。



作成した新聞折込広告

### ○バスツアーの企画、PR 活動について

- ◇企画の段階で、様々な法律について学ぶことができました。また、PR 用のポスターやチラシを作成する中で、CG を活用することができました。名古屋駅での広告配布や、声をだしての販売促進活動はとても良い体験になりました。
- ◆価格が割高であったことや PR 不足のため人数が集まらずツアーを行うことができませんでした。

### ○ケーブルテレビ可児との連携について

- ◇多くの方に伏見地区の史跡や魅力について情報発信することができました。
- ◆今後も地域の活性化につながる番組制作に協力していきたいです。



ケーブル TV 番組収録中

### ○『駱駝』との協力について

- ◇「エコロードハイキング」にスタッフとして参加させていただき地元の皆さんと交流ができました。

## 実践活動をとおして学んだことは・・・

- ・地域と連携した活動を通じて、実社会において必要なコミュニケーション能力を身に付けることができました。
- ・自分たちで地域の課題を見つけ、解決するための取り組みを行う中で、将来の夢を実現するための力を身に付けることができました。